

2017 年 5 月 25 日

通貨ニュース

カナダ:4 月金融政策会合ーややタカ派も慎重姿勢は変わらず

- ・ カナダ銀行 (中央銀行、BOC) は 5 月 24 日の金融政策会合で、政策金利の翌日物金利の誘導目標を 0.50% に据え置いた。
- ・ 声明文からは、BOC は原油安ショックから経済が回復したと判断しているものの、先行きについてそれほど楽観的に見ているとは思えない。また、物価についても、コアインフレ率の安定を背景に慎重姿勢を崩していない。
- ・ インフレ加速の兆しが見られない中で BOC が利上げを急ぐことはなく、利上げは早くても 2018 年前半だろう。原油相場も 50 ドル程度で横ばい推移が続く中、カナダドル (CAD) の上値余地は限られる。

国際為替部
マーケット・エコノミスト
多田出 健太
03-3242-7065
kenta.tadaide@mizuho-bk.co.jp

慎重姿勢を崩したわけではない

BOC は 5 月 24 日の金融政策会合で、政策金利の翌日物金利の誘導目標を 0.50% に据え置いた。ブルームバーグ調査でも、全員が据え置きを予想していた通り、この決定にサプライズはない。だが、声明文に「現行の刺激策は現段階では適切」と示したことが材料視され、CAD は対ドルで 1.3530 付近から 1.3440 付近まで急上昇した。その後も、公表された米連邦公開市場委員会 (FOMC) 議事要旨 (5 月 2・3 日開催分) を受けてドル売りが進んだこともあり、一時 1.3406 をつけるなど 4 月 19 日以来の高値まで上昇する動きがみられている。

声明文をみると、景気動向については「原油安に対するカナダ経済の調整は概ね完了し、設備投資関連指標を含めて、最近の経済データは心強い」と指摘。「個人消費と住宅セクターは労働市場の改善を背景に引き続き底堅く、裾野も全国的に広がっている」との見方を示した。他方、外需については「4 月の金融政策報告書 (MPR) で予想したように、輸出の伸びは抑制されたままであり、(輸出業者は) 引き続き厳しい競争環境に直面している」としている。また、「注視している経済データは、第 1 四半期の非常に力強い成長は第 2 四半期にいく分減速する可能性を示唆している」としており、足許の景気の加速を楽観視している様子ではない。

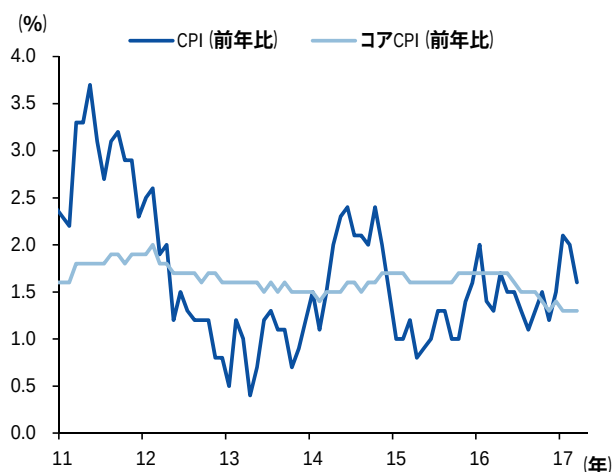
物価については、「総じて 4 月の MPR で示した予想に沿っている」との見方を示した。BOC は「主に小売業の激しい競争を背景に食料価格の下落が続き、一時的に下押し圧力がかかっている」とした。また、「3 つのコアインフレ指標は 2%以下にとどまっているほか、賃金上昇率は鈍く、経済には依然として過剰能力が残っている」と指摘した。BOC は、コアインフレ率の上昇圧力は依然として高まっていないとみている様子うかがえ、慎重姿勢を崩していないようだ。

全体として、声明文からは、BOC は原油安ショックから経済が回復したと判断しているものの、先行きについてそれほど楽観的に見ているとは思えない。BOC は 2019 年にかけて潜在成長率を上回るペースでの成長を見込んでおり、需給ギャップは 2018 年半ばに解消すると予想している。したがって、徐々に物価上昇圧力は高まっていくことが想定されるが、低位で安定するコアインフレ率に現れているように、インフレが加速していく兆しは見られていない (図表 1)。したがって、BOC が利上げを急ぐことはなく、BOC の利上げは早くても 2018 年前半だろう。

みずほ銀行では 2018 年にかけてドル安を想定しており、CAD 相場についても対ドルで買われやすくなると見込まれる。もっとも、BOC の金融引き締めは当面期待できないことに加え、原油相場も 50 ドル/バレル程度で横ばい推移が続く中、CAD の上値余地は限定的とみている (図表 2)。

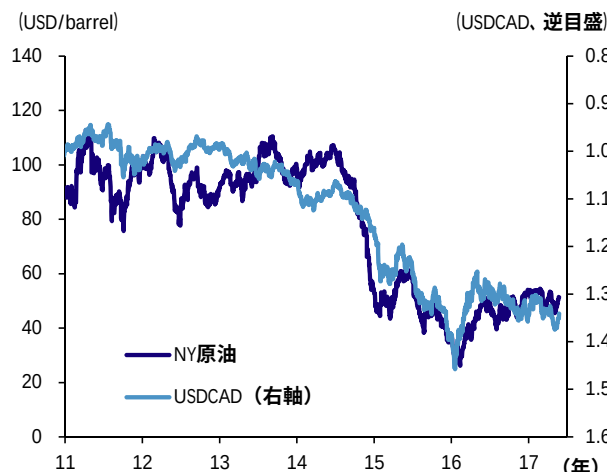
次回の金融政策会合は 7 月 12 日に予定されており、同時に四半期毎の MPR が公表され、新たな経済成長および物価見通しが明らかになる。

図表 1: 消費者物価指数 (CPI) 上昇率



出所: カナダ統計局、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 2: 原油相場とカナダドル相場



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。